



国際会長ニュース

愛と尊厳で世界を癒そう



国際会長 キム・サンチェ

2022年 6月号

キム国際会長のメッセージ

今年を振り返り、お別れの挨拶



2 ページ



IHQ ニュース 6月

内容

- *5月に開催された ICM と次期理事サミット(ドバイ)のニュース
- * 国際本部スタッフの新しい事務所
- * ネパールとインドネシアに新クラブ誕生

3 ページ



アフリカ地域

アフリカ地域の拡大
トム・ワカ、アフリカ地域会長

4 ページ



6月の強調月間テーマ

国際ブラザークラブ(IBC)

この貴重なプログラムへの参加を奨励
利根川恵子
IBC 国際事業主任

5 ページ



6月の強調月間テーマ

6 ページ

ワイズメンズクラブ国際協会 YMCA リエゾン
YMCA とのリエゾンの重要性を概説
山田公平 YMCA リエゾン国際事業主任

次期国際会長 K・C・サミュエル

7 ページ

次期国際会長からのメッセージ



編集長の最後の言葉

8 ページ

お世話になった方々へのお礼と、
新しい編集チームの紹介



「強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う」





キム国際会長のメッセージ

親愛なる友人と家族の皆さん。
この美しい6月に、皆さまにご挨拶申し上げます。

2022年も半分が過ぎ、2022/23年度に向けて準備を進めているところです。

ご存じのように、私たちの運動の歴史的な100周年を記念して、組織の刷新を促すために国際議会(ICM)ワーキンググループが結成され、この8ヶ月間、国際憲法の改訂とプログラムの見直しに専念してきました。

この変化と刷新の動きは、5月中旬にドバイで開催された特別ICMと第2回国際次期理事サミット(主催:インド地域中東区)によって、さらに加速されました。この特別ICMでは、「戦略2032」が紹介、採択され、次の100年に向けた組織変革の第一歩を踏み出しました。

また、5月18日には新国際本部のオフィス購入が完了しました。

パンデミック続きの世界のYMCAに手を差し伸べるため、盲点になっている人々を助けるため、ウクライナ危機の憂さを晴らすため、各区・地域が一步ずつ前を出て資金集めを行いました。私たちは、善意と回復力を持った誇り高いサービス集団であることを改めて認識させられます。

私の目標は、米国トレドのYMCAを支援する小さな昼食会から始まり、世界74カ国に数万人の会員を持つ国際組織に成長した私たちの組織の地位に見合った知名度を確保し、その知名度を通じて成長の好循環を実現することです。

私は、国際会長のテーマとして「世界とともにワイズメン」を、スローガンとして「愛と尊厳をもって世界を癒そう」を掲げ、国際組織の一員であることの認識が会員一人ひとりの心の中に存在することを願いました。この心構えは、ワイズメンズクラブ国際協会の新しい世紀を迎え、100年の経験に基づき、明るく、大胆に、生き生きとした動きで前進する今、より一層重要な意味を持ちます。私たちの集団的影響力とグローバルなプレゼンスを発展させるために、フェロウシップと手を差し伸べることの強化を通じて、健康、環境、教育の分野で具体的かつポジティブなインパクトを生み出していきます。

この1年、皆さまのご支援をいただきありがとうございました。国際会長ニュースに献身的に貢献してくださった編集者のウォリーと世界中の翻訳チームに特に感謝します。

心から感謝と愛情を込めて。

2021-2022 国際会長
キム・サンチェ

国際本部ニュース - 2022年6月

2022年5月8日から11日にかけて、ドバイで特別国際議会が開かれ、新しい前進計画（戦略 2032）の採択や BF ポリシーの変更など、いくつかの重要な決定がなされました。また、国際憲法と組織構造を近代化するための継続的な議題にも時間が費やされました。



国際次期理事サミットは、ICM の直後、5月11日から14日にかけて開催されました。このイベントには、75人以上の参加者、ゲスト、オブザーバーが参加し、モチベーションを高めました。インド地域の中東区が現地でのホスト役を務めました。パンデミック中に直接行うことができなかったいくつかの賞の授与と表彰が、ようやく実現しました。2020/21年度バランタイン賞は、開会式でウォリー（アラン・ウォリントン）に正式に授与されました。また、直前国際会計フィリップス・K・チェリアン、元国際会長ジェニファー・ジョーンズ、直前国際会長ジェイコブ・クリステンセンも、ワイズメンズクラブ国際協会への献身的な奉仕を称えられました。

ジュネーブに国際本部の新しいオフィススペースを取得したことを、喜びをもってお知らせします。5月18日（水）、国際会長キム・サンチェ、国際会計 T・M・ジョース、国際書記長ジョース・ヴァルギースにより、国際本部スタッフ立会いのもと、売買証書が調印されました。私たちは、50年間の賃貸生活から、再び、私たち自身の場所を手に入れることができました。この100周年記念の年に、EFとPWA遺産プロジェクトに寄付してくださった方々に感謝します。新居は、レマン湖の右岸、[121 Rue de Lausanne, 1202 Geneva](https://www.ywca.ch/en/121-Rue-de-Lausanne-1202-Geneva)で、主要駅、国連、その他の主要国際機関、湖畔からわずか数分のところにあります。追ってお知らせするまでは、郵便物の送付は、[従来の住所宛](#)にお願いします。移転に先立ち、改装が必要ですが、プロジェクトの進捗に伴い、より多くのニュースをお伝えできることを楽しみにしています。新しいオフィスは、ジュネーブの有名で交通量の多い道路に面しており、一等地の住所となり、視認性も向上します。

6月は、私たちの活動の年次レビューを行う月です。地域的、世界的に様々な新しい、また進行中の課題があるにもかかわらず、年末までに約100の新しいクラブが誕生することをご報告できるのは心強い限りです。最近、ネパール、香港、タイのクラブの支援により、ネパールで2つの新クラブがチャーターされたことを祝いました。また、インドネシアが、マランでの新クラブの設立によって、ワイズメンズクラブ国際協会ファミリーの74番目の国として追加されました。また、ウクライナ危機のための募金活動も続けており、区やクラブの皆様から寛大なご寄付をいただいております。

今年のICMは、7月3日から9日までデンマークのオーフスで世界MCA同盟評議会と一緒に開催されます。国際執行役員、国際会長の任命式は、7月5日に世界MCA同盟評議会の場で行われ、世界中から集まった1,000人のYMCA代表と200人のデンマークのワイズメンが出席する予定です。このイベントは、1922年にアメリカのアトランティックシティで開催されたYMCAの3年ごとの大会で、ワイズメンズクラブ国際協会が設立されたことを記念するのにふさわしい、素晴らしいイベントとなるでしょう。

国際書記長ジョース・ヴァルギース

アフリカ地域

アフリカ地域は、ワイズメンズクラブ国際協会 100 周年を記念するプロジェクトに、真摯に継続して取り組んでいます。アフリカ北西部は、ラゴスの刑務所のひとつを訪問し、受刑者と交流することで、非常に記念すべき 100 周年活動を実施しました。これは、ラゴスのコイイ矯正センターの 100 人の受刑者に 100 個の緩和パッケージを寄贈することで行われました。パッケージの中には、洗面用具などの身の回りの品が入っていました。



次期地域会長ディリの誕生日祝いの際、カドナから約 108km 離れたアラー・ガルバで新しいクラブが発足しました。このクラブは、15 人の新会員を獲得し、好調な滑り出しとなりました。これは、4 月にラゴスのワイズメンがオリエンテーションのためにこの地域を訪れた成果です。

ナイロビクラブは、ブジュンブラクラブと合同会議を開き、100 周年記念行事を確認・計画しました。ブジュンブラ・チームには、コンゴ民主共和国から来た熱心な人々もおり、彼らは、自国でのクラブ設立に意欲を燃やしていました。

2022 年 4 月 22 日から 24 日にかけて、地域と区の大会が開催され、地域のワイズメンが集まりました。これは、100 周年記念の祝賀に合わせていくつかの社会的活動の内の一つの節目でした。

トム・ワカ、アフリカ地域会長

ICM からの画像 - 2022 年 5 月

1. ICM の参加者
2. トロイカ
3. ICM 会期中の様子
4. 戦略 2032 チーム
5. 国際本部チーム



6月の強調月間テーマ - 国際兄弟クラブ(IBC)

国際兄弟クラブは、異なる国にあるクラブ間のパートナーシップを促進し、相互の利益と理解を深めることを目的としています。ワイズメン、ワイズウイメン、そしてその家族が、近隣や世界各地のクラブメンバーについて学び、アイデアを交換することを目的としています。



現在、967の兄弟クラブパートナーシップがあり、57の国が兄弟クラブのプログラムに参加しています。



従来は、ブリティッシュを交換し、国際大会や地域大会で顔を合わせ、互いを訪問し合うという関係でした。しかし、テクノロジーの進歩により、この2年間、多くのIBCパートナーがオンラインで会合を開くようになりました。例えば、シンガポールのアルファチャプタークラブは、3月19日に6つのIBCパートナーと共にフェロシップ・ナイトを開催しました。シンガポール、タイ、韓国、香港、日本、カンボジア、台湾のワイズメンとワイズウイメンがオンラインで出会い、親睦を深めながら各クラブが行っていることを把握しました。また、これらのIBCは、ネパールの新クラブ

を拡大するためにスポンサークラブとして協力しました。あるオンラインミーティングでは、多くのクラブ会員が参加し、親睦の時間を楽しみました。

IBCの協力のもう一つの素晴らしい例は、2021年11月にネパールのルンビニクラブと日本の北九州クラブの共同作業で行われた国連の持続可能な開発目標(SDGs)に関するオンライン英語スピーチコンテストです。5カ国から14名の若者(35歳以下)が参加し、上位3名には賞金が授与されました。

長い歴史を持つ三角形のIBCの中には、オンラインでその日のトピックについて話し合ったものもあります。マスキーゴン(ミッドアメリカ)、バララット(オーストラリア)、トレド・セントラル(ミッドアメリカ)の3クラブはその好例です。



国際的な親睦活動を充実させたい場合は、ワイズメンズクラブ国際協会がIBCプログラムを通じて機会を提供することができます。IBCのパートナーを見つけるのは難しいことはありません。[IBC関係申請書](#)に必要事項をご記入の上、国際本部にご提出ください。その後、IBC国際事業主任が、候補となるクラブを探すため、希望する区が存在する地域のIBC地域事業主任に連絡します。

また、[IBC国際事業主任](#)に連絡し、順番待ちリストに載っているクラブの情報を得ることもできます。現在、約10のクラブが連絡を待っています。

全体として、IBCプログラムは楽しく、励みになり、刺激的です。このプログラムは、異文化の目を見開かせるような体験をもたらすことでしょう。ワイズファミリーとして人生を豊かにする機会をどうぞお見逃しなく。

利根川恵子 IBC 国際事業主任

6月の強調月間テーマ - ワイズメンズクラブ国際協会 YMCA リエゾン

約40年勤めたYMCA主事を退職した後、ワイズメンズクラブ国際協会から、YMCAリエゾン国際事業主任に就任するよう依頼されました。YMCAとワイズメンズクラブとのパートナーシップをもっと促進させたいと考えています。世界の多くの地域で、パートナーシップは強くないということに気づきました。例えば、YMCAの主なプログラムは、多くの国でこの10～15年の間に変化しています。同時に、YMCAは、私たちは何者なのか、地域の若者や子どもたちの要求が変化している中で、YMCAは何のためにあるのかと、自らに尋ねています。



日本のYMCAのリーダーとワイズメンのリーダーが話し合った結果、大きな疑問のひとつは、若者のエンパワーメントについてでした。私たちYMCAとワイズメンズは今、大きな変化の中にいます。ニーズや技術が変化する中で、私たちが生き残る術を見つけると同時に、互いを強化する必要があります。

そのヒントは、日本でひとつのユースエンパワーメント・プロジェクトを実施したことにあります。これは、まだスタート地点に過ぎませんが、ユースエンパワーメントの新しい扉を共同で開くことができる予感がします。日本のYMCAとワイズメンズクラブは、Y's × SDGs ユースアクション2022という新しいプロジェクトを作りました。YMCA内外のユースグループによる10の小さなプロジェクトの支援です。これは、YMCAとワイズメンズクラブ国際協会が、日本の多くの地域でユースアクションを展開するために時間と資金(3者で約2万ドル)を投資する初めての試みです。このモデルは、パートナーシップのモデルプロジェクトの一つとして、世界の多くの地域に導入される可能性があります。

[詳しくはこちら](#)、または上の画像をクリックしてください。

山田公平 YMCAリエゾン国際事業主任

2022年5月 次期理事サミットの様子



1. 次期理事サミットの参加者
2. 次期国際会長 K・C・サミュエル
3. 元国際会長ジェニファー・ジョーンズへの表彰
4. 次期理事サミット開催中
5. バランタイン賞



次期国際会長からのメッセージ



100年前、先見の明を持った私たちの創設者ポール・ウィリアム・アレキサンダー判事によって蒔かれた種は、成長しました。それは、あらゆる難題を乗り越え、世界中の何百万人もの真に支援するのに相応しい同胞のために奉仕してきました。今日、私たちは、より一層の活力と熱意をもって、新しい世紀を迎えようとしています。今、私たちは、反省し、内省し、再構築し、前進する時なのです。

ワイズメンズクラブ国際協会は、偉大な運動であり、その重要性は、過去よりも今日の方がはるかに高いのです。何百万人もの貧しく困窮している人々が支援を求めており、人類は、この世界を形作り、より住みやすい場所にすることができるリーダーを必要としています。孤独や精神的な問題が増える中、良き友情と交わりも必要となっています。このような状況の中で、私たちの運動の成長と有用性が極めて重要になります。

会員数が伸び悩んでいることは、人数的にも、地理的な広がりという点でも、課題となっています。その結果、より多くの資金を集め、より良いブランドイメージへの道を開き、より多くの会員と活動をもたらすことができたはずの目に見えるインパクトのある奉仕プロジェクトを実施する能力に影響を与えました。

とはいえ、私たちの創設者であるポール・ウィリアム・アレキサンダー判事のビジョンを実現し、必要な成長を遂げることがチームとして可能であることは間違いありません。これは、私たち全員がビジョンに沿い、明確な思考と綿密な実行計画を持ち、私たちの運動のすべてのレベルにおいて強力で断固としたリーダーシップによって実行されたときに実現できることなのです。私たちは、時代の変化に合わせて国際憲法を現代化し、私たちの運動のすべてのメンバーが誇りと重要性を感じられるように、必要な透明性をもたらすことが不可欠です。私たちの組織は、すべての会員が同じ会費を払い、平等な権利と所有権を持つ自発的な組織です。会員が重要性を感じず、尊敬と威厳をもって扱われなければ、私たちの運動の魂は、死んでしまいます。

次の100年に向けての基礎固めはすでに始まっていると思いますが、さらに100年先を見据えた長期的な戦略とビジョンに取り組んでいこうではありませんか。「自己を超え、変化を起こそう」から「世界を癒そう」と考え、「次の100年に向けて、親睦とインパクトを」に踏み出そうではありませんか。

アメリカの神学者、ラインホルド・ニーバーとともに祈りましょう。「神様、私たちに、変えられないものを受け入れる穏やかさと、変えられるものを変える勇気と、違いを知る知恵を与えてください……」私たちの運動が、今後何年にもわたって、素晴らしい、野心的なものになりますように。

K・C・サミュエル 2022-23 年度国際会長

今月のグッド・ストーリーは、国際会長ニュースの編集者としての2年間、私が受けた素晴らしいサポートについてです。私は2020年に直前国際会長のジェイコブ・クリステンセンから国際会長ニュースの編集を依頼され、2021年にはキム国際会長から彼の任期中にも続けるようにと言われました。

Tell a Good Story.



編集者として私は、情報提供、教育、娯楽という3つの目標を掲げ、これらの目標を達成するための記事を探し、毎月の国際会長ニュースの締め切りに間に合うよう懸命に努力しました。

これらの目標を達成するために、私は毎号の寄稿者、校正者のジェームズ・オレマイク・ベンドレイそして地下室に閉じこもってコンピュータを叩いている私をしばしば発見する、長年苦しんだ妻の素晴らしいサポートを受けることができました。ありがとうございました。

私の最も誇れる業績のひとつは、国際会長ニュースが11ヶ国語で出版されたことです。翻訳者の方々には、大変お世話になりました。言語のアルファベット順に並べると・・・

中国語: マギー・ユー、**デンマーク語:** ビジャー・ソエンダースコフ、**フランス語:** フランシス・ミュンツァー、**ドイツ語:** ロサー・リーブリング、**日本語:** 田中博之、田尻忠邦、**韓国語:** チャン・ヒジン、**ポルトガル語:** ウィルストン・ガエティ、**ロシア語:** オルガ・ヴォズチコワ、マリナ・マカロワ、イリナ・ママエワ、ユリア・シェルバコワ、タチアナ・オ・ピスクリョーフ、オリヤ・ウォーリントン、**スロバキア語:** アナ・ラシオヴァ、**スペイン語:** シルビア・レイエス

ありがとう、友よ。



私は、この年齢になってプレッシャーに耐えることが難しくなってきたため、国際会長ニュース編集者の職を不本意ながら辞すことにしました。

後任は、以下のとおりですが、皆さんは、彼らが任務を遂行するのに必要なサポートを与えてください。編集者としての私へのサポートと友情に感謝します。

Wally

国際会長 K・C・サミュエルは、2022-23 年度、国際会長ニュースの新しい編集チームを任命しました。
編集長は以下のとおりです。

ダニエル・トーマス (tadann@gmail.com)

サポートは マテュークティ・セバスチャン (meetseb@gmail.com) が
ニュースレターの編集とデザインを担当します。

みなさまの投稿をダニエルに送ってください